

具体的な取組の柱		項目							具体的取組	
		江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省		
①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組										
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進										
・堤防整備等	S	R4 当初計画								江の川改修
		R5 3月末時点								①河道掘削・樹木伐採を実施(市村地区、川越地区) ②港地区防災集団移転促進事業の開始 ③川平町田の原地区土地利用一体型水防事業竣工
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備										
・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	M	R4 当初計画								孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置
		R5 3月末時点								①小谷川排水樋門背後地に簡易カメラを設置 ②CCTVカメラを7箇所整備 ③危機管理型水位計を8箇所整備
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	D.M	R4 当初計画								・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プログラムの改善を随時実施し、HP等により公開する。
		R5 3月末時点								①線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ(令和4年6月1日～) ②大雨特別警報(浸水害)の指標を改善(令和4年6月30日～) ③キキクル(危険度分布)の改善「黒」の新設、「うす紫」と「濃い紫」を統合し、警戒レベルに整合(令和4年6月30日～) ④洪水キキクル上に水害リスクラインを統合して表示(令和5年2月16日～) ⑤指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日～) ⑥高潮の早期注意情報(警報級の可能性)を毎日発表(令和4年9月8日～)
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等										
・想定最大規模降雨に対応したハザードマップに基づく避難計画の見直し(避難場所及び避難経路の検討、広域避難の必要性検討、隣接市町との洪水時の連絡体制の検討)	E,F,G,L	R4 当初計画	想定最大規模降雨に基づく避難計画見直しの検討を行う	避難場所及び避難経路の見直し	ハザードマップの修正、表示情報の検討	避難計画の見直しについて説明会の実施				
		R5 3月末時点	旧桜江町における地区避難計画作成に向けて検討を行った。	福祉避難所の代替対応済み	デジタルハザードマップを構築した	未実施				
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難指示等を発令する範囲の見直し	C,E,F,G	R4 当初計画	避難指示等の発令範囲の検討を行う	1地区見直し予定	過去の水害時の時系列水位等データを検証	対象地域に漏れがない運用の実施				
		R5 3月末時点	検討の結果、現行の範囲で変更なし	継続検証	近年の数値を並列に整理し検討中	漏れがないように実施した				
・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成・訓練実施の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	J	R4 当初計画	全ての要配慮者利用施設における避難確保計画の策定に向けてフォローアップを行う。日本語学校の生徒に対し、防災講座を行う	訓練実施の支援	避難確保計画の策定(改訂)支援及び計画に基づく訓練等の支援(共催を含む)	(土砂災害警戒区域内)の要配慮者利用施設の避難確保計画作成について協議を実施予定				江津市の定住外国人・日本語学校の生徒等を対象とした講習会を実施予定
		R5 3月末時点	計画に基づく訓練等の支援を行った。	実施済み	支援は行っているが訓練はコロナ禍を考慮し未実施	実施済み				新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し未実施
・夜間、荒天時における避難指示等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	K	R4 当初計画	避難指示等発令マニュアルの改正の検討を行う	発令基準を検討	過去の水害時の時系列水位等データを検証	自主防災組織と避難誘導体制の協議を実施予定(協議を踏まえ避難訓練を実施予定)				
		R5 3月末時点	未実施	継続検証	気象台からの発表データを参照しつつ避難指示灯の発令基準を検討中	自主防災組織と協議を実施				
・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	F,H	R4 当初計画		商工会等と協議	研修会・訓練の共催及び支援	商工会事務局と協議予定	要請に応じて参加・支援	各種講習会・訓練等の開催に協力し、支援を行う。		江の川(下流)流域の商工会や企業を対象とした講習会等を実施予定
		R5 3月末時点	未実施	未実施	コロナ禍を考慮し未実施	BCPの作成等協議を実施	要請がなく未実施	新型コロナウイルス感染拡大による影響等のため、協力の依頼なし。		水害BCPを作成する企業を募るチラシを作成し、美郷町及び邑南町の商工会議所に150部ずつ配布
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所への配布やまことまちハザードマップによる災害リスクの現地表示の実施	A,E,F,G,L	R4 当初計画	海抜表示板等の維持を行う	現地表示実施の検討	浸水想定区域の変更に伴うハザードマップの修正、浸水想定、避難経路の安全性を考慮した避難方法の個別検討、広域避難の具体的な調整	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、ハザードマップを作成し、事業所へ配布				
		R5 3月末時点	海抜表示板や避難所看板の維持を行った。	未実施	デジタルハザードマップで浸水想定区域を変更中	ハザードマップを作成し、全戸に配布				
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成										
・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの運用及び見直し	B	R4 当初計画	他機関・住民等と連携したタイムライン改正の検討を行う	随時見直し	減災協による	水害タイムライン策定にあたり、協議会の一員として運用見直しに協力する。	運用および実洪水等による見直しに協力する	水害対応タイムラインの確認・調整(水害対応タイムラインにおいて、依頼に基づき防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う)		多機関連携型タイムラインの運用・見直し
		R5 3月末時点	未実施	今年度は変動なし	減災協により適宜実施	見直しを実施				出水期における江の川(下流)水害タイムラインの立ち上げ・運用に協力。検討会においては、運用方法等について助言を行った。
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
・洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	緊	R4 当初計画	ホットラインの確認を行う	随時実施	ホットラインの年次更新等	洪水時における河川管理者からの情報提供等を構築	(八戸川)県管理河川のタイムラインを活用して情報提供			指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表
		R5 3月末時点	ホットラインの確認を行った	実施済み	ホットラインの年次更新を実施	ホットラインを確認した	八戸ダム及び県管理河川における情報提供を実施	特になし		江の川(下流)・高津川の流域自治体と台風接近3日前に情報共有のためのWeb会議を実施、今後、松江地方気象台・島根県と協議予定
・ダム放流情報を活用した避難体系の確立	緊	R4 当初計画	ダム放流情報を活用した避難体系の検討を行う	関係機関等と協議	施設管理者等の出す情報の確認と活用を検討	ダム放流情報を活用した避難体系の確立に協力する。	沿川市町村等から要するある浜原ダムの放流情報に公開に取組む(要望)			治水協定に基づく事前放流の連絡体制等の整備等
		R5 3月末時点	未実施	盛り込み済み	考慮中	協力の実施				江の川水系ダム洪水調節協議会における連絡体制の確認
■防災教育や防災知識の普及										
・江の川(下流)における浸水イメージ動画の作成・公開	A,B,F	R4 当初計画								引き続き実施
		R5 3月末時点								
・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送、水害リスクラインの活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用	H,L,R	R4 当初計画	広報誌等で活用方法を周知する	町民への周知	必要な情報の整理と広報手段の検討	町広報などで有効活用を周知を実施予定(住民対象)	島根県水防情報システムや、島根防災メールによる河川情報の発信	出前講座等、及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介する。		水害リスクライン等の活用促進のための周知や二次元コード、SNSの有効活用
		R5 3月末時点	出前講座や広報誌等で周知	周知事業なし	周知を実施	周知を実施	水防情報システムや防災メールにより河川情報を発信	出前講座及び気象資料の照会を受けた際、防災気象情報等の入手先のひとつとして「川の防災情報」を紹介した。【webによる市町村支援】・(令和4年5月26日～6月23日)島根県内市町村防災担当者向けに、「気象防災ワークショップ(土砂災害・洪水・水害)」を、web会議により11回開催し、地域防災力の向上を支援した。・島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻にYouTubeにて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点を動画にて平易に解説(異常気象が見込まれる際は、臨時配信)。		①江の川だより第11号において、河川水位や河川カメラ情報の入手先として川の防災情報を周知 ②Twitterを活用した防災情報の発信
・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	R4 当初計画	出前講座等で水害(防災)教育を行う	小中学校で実施	防災教育の実施・充実に向けた教育委員会との協議	各小中学校で防災学習会を実施	要請に応じて参加・支援	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。		江の川(下流)流域の小中学校を対象とした防災教育を実施予定
		R5 3月末時点	実施	小学校で実施	ハザードマップの見方等について小学校教諭に助言(授業に関わる)	高小中学校の児童に対して出前講座を実施	要請がなく未実施	新型コロナウイルス感染拡大による影響等のため、出前講座の依頼なし。		出前講座を実施(6/23 郷田小学校)
・住民の水防意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用し、より実践的な防災教育の実施、ダムや堤防施設の機能等に関する定期的な住民への説明会や情報提供、避難訓練への参加促進を実施	B,H,I	R4 当初計画	出前講座や避難訓練でツールを活用する	5月30日、6月6日訓練実施	防災意識を高める効果的な研修会、学習会の開催、河川管理者等と協議した説明会・訓練の開催	防災訓練や出前講座などで動画を活用する。また各地域で説明会を開催する。	住民に対して、広報誌などで施設機能について情報提供	出前講座等の実施により、防災気象情報の利活用をはじめとする防災知識の普及を行う。		・出前講座等において住民への説明を実施 ・「江の川だより」による広報
		R5 3月末時点	ツールを活用した防災教育を実施	実施済み	自主防災組織が主体となった訓練を協働実施、防災学習会の開催	町内自治会等で出前講座を実施				
・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	I	R4 当初計画	(配信)	(配信)	(配信)	(配信)				プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施
		R5 3月末時点								プッシュ型の洪水情報発信を引き続き実施

具体的な取組の柱								
事項		江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
具体的取組								
・住民一人一人の避難計画・情報マップ(マイ・タイムライン)の作成促進 ※令和5年度までに全小中学校、自治会において、マイ・タイムラインの作成支援を実施	R4 当初計画	マイ・タイムラインの作成について検討を行う	研修会実施・作成支援	自主防災組織単位での学習会にマイ・タイムライン作成の取り組みを推進、関係機関と連携し講師等の手配を行う	自主防災組織、防災士と協力しマイ・タイムラインを作成する。	要請に応じて参加・支援		・江の川(下流)流域の自治体を対象にマイ・タイムライン講習会を実施予定 ・広報(昭和47年水害から50年)【昭和47年水害から50年版】逃げキッド作成、新聞広告
	R5 3月末時点	未実施	未実施	各自主防災組織の役員及び防災士等を対象に実施	自主防災組織、防災士に対してマイ・タイムライン作成研修を実施	要請がなく未実施		①「昭和47年7月豪雨災害から50年」に関する新聞広告・展示パネル・記録資料の作成 ②流域自治体で「昭和47年7月豪雨災害から50年」に関するパネル展を実施

■減災・防災に関する国の支援

・適切な土地利用の促進	緊	R4 当初計画							露堤背後地における土地利用規制等を促進するため、引き続き、水害リスク情報の提供を実施
・地域防災力の向上のための人材育成	緊	R4 当初計画							地域に精通し水害・土砂災害リスク等に関する豊富な知見を有する専門家による支援
・水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	緊	R4 当初計画							必要に応じて実施
・代行制度による都道府県に対する技術支援	緊	R4 当初計画							必要に応じて実施
・災害時及び災害復旧に対する支援	緊	R4 当初計画							必要に応じて実施
・災害情報の地方公共団体との共有体制強化	緊	R4 当初計画							必要に応じて実施

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備

・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	M	R4 当初計画							孤立する可能性がある地区において危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ設置
・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	D.M	R4 当初計画							①小谷川排水樋門背後地に簡易カメラを設置 ②CCTVカメラを7箇所整備 ③危機管理型水位計を8箇所整備
・樋門の無動力化の推進	T	R4 当初計画							・橋脚や護岸に奨励色の水位表示板を更新・設置 指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日～)
		R5 3月末時点							R4実施予定なし。 R4未実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

・消防団員と兼務する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施及び人員の確保	L.M	R4 当初計画	水防団員の連絡体制の再確認を行う	消防団により随時実施	消防団員を対象とした研修会の開催、水防団活動の情報伝達体制の再構築と、各地域ごとの水防訓練を実施	消防団各分団により随時実施			
		R5 3月末時点	連絡体制の確認を行った	出勤なし	内水排除を対象とした講習会を開催	消防団により随時実施			
・江の川(下流)の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼務する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	H.N	R4 当初計画	水防団員による点検を実施	消防団により随時実施	合同点検の実施に向け、消防団員や地域住民の参加を促す。	消防団員により随時実施			合同点検等を実施
		R5 3月末時点	水防団により実施	一部で実施	コロナ禍を考慮し未実施	消防団により随時実施			美郷町職員と重要水防箇所2箇所を確認
・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	N	R4 当初計画	水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行う	各分団の訓練で実施	共催による実施に向け関係機関と協議を行う	各消防団の訓練に併せて実施予定	要請に応じて参加・支援	各種講習会に参加する。また、開催に協力し、支援を行う。	国交省職員を講師とした講習会を実施
		R5 3月末時点	水防団員に排水ポンプ等の実技指導を行った	実施済み	コロナ禍を考慮し未実施	未実施	要請がなく未実施	新型コロナウイルス感染拡大による影響等のため、協力の依頼なし。	国交省職員・防災エキスパート・コンサルタントの共同で、梅雨時期前に堤防点検を実施
・備蓄水防資材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	O	R4 当初計画	重要水防箇所の点検等と併せて資材使用方法の確認を行う	水防計画による確認	共有化に向けた具体的な協議を進める	R3年邑南町水防計画を策定し、情報共有を図る	出水期前に関係機関と調整会議などによる情報共有や資材の合同点検を実施		備蓄水防資材情報の共有および相互支援方法の確認
		R5 3月末時点	水防団による確認を行った	実施中	未実施	情報共有を実施	水防計画による情報共有を実施		①水防連絡会、洪水予報連絡会を再開 ②江の川各谷地区(川本町)において、国交省・島根県・川本町・維持工事受注者の合同で仮設堤防の設置訓練を実施
・市庁舎の水害時における対応について業務継続計画を策定及び機能確保のための対策の充実	P.緊	R4 当初計画	新庁舎版業務継続計画を作成する	—	水害等の災害時における業務継続計画の改訂を適正に行う	必要に応じて業務継続計画を見直す。			
		R5 3月末時点	未実施		改訂を検討	見直しの必要が無いため未実施			
・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	Q	R4 当初計画	樋門操作員研修会を出水期前までに実施	樋門等操作員研修で実施	関係機関と連携し適正な研修会・訓練の実施を行う	操作担当職員、消防団により6月までに実施予定	要請に応じて参加・支援		樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施
		R5 3月末時点	樋門操作員研修会を実施した	実施済み	説明会は開催、操作訓練については、消防団により実施	7月に実施	要請がなく未実施		①本町救急内水排水機場の操作説明会を実施 ②下ノ原排水樋門において、樋門操作員のための簡易小屋を設置

③浸水を一日も早く解消するための排水対策

■排水作業準備計画(案)の作成及び排水訓練の実施

・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	R	R4 当初計画	未定		排水作業準備計画に基づいた排水訓練の実施	排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施する。	—		排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施及び訓練を踏まえた見直し
		R5 3月末時点	未実施		内水排除訓練を実施	新たに町で導入した排水ポンプの訓練を実施	—		①本町救急内水排水機場の操作説明会を実施 ②国交省職員と維持工事受注者が合同で、排水ポンプ車と照明車の操作訓練を実施
・排水設備の耐水性の強化	緊	R4 当初計画	未定		排水施設の耐水性の確認と、対処方法の検討	必要に応じて排水設備の耐水性の強化する。	—		排水設備の耐水性の強化
		R5 3月末時点	未実施		対処法についての検討を実施	排水設備の点検と修繕を実施	—		未実施

新たな取組

■報道機関との連携

報道機関との懇談会をwebにて開催	—	R4 当初計画							・報道機関との懇談会をweb会議にて主催し、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化する。 【第4回】(令和4年5月31日)「令和4年度 防災気象情報の改善について」 「山陰の気象特性(出水期)と季節予報について」 【第5回】(令和4年12月9日)「気象庁HPの見方について」 「山陰の冬の天気と今冬の予想について」 ※いずれも、浜田河川国道事務所をはじめとする県内各事務所と共催
		R5 3月末時点							

■追加確認事項

質問内容	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
ケアマネージャーに対する支援状況、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示状況について教えてください。	ケアマネに対する支援なし ハザードマップの掲示なし	要配慮者利用施設へ配布	個別避難計画の策定支援に向けたケアマネージャーの活用及び支援については共に研修会へ参加 地域包括支援センターは役場庁舎内にあり、役場職員で構成されていますので、ハザードマップの情報共有はされています。	邑南町役場福祉課内に、地域包括支援センターがあるため情報共有等実施できている。			